

# 走行チェックシート

日付	2011年10月9日 (日)		時間	~	イベント	2011MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L1	ライダー	今野由寛		
コース	名称	岡山国際サーキット			気温	24	°C	
	コンディション	DRY			気圧	995	hpa	
	路面温度	38	(計測時間)		湿度	35.5	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40			
	ファイナルレシオ	15 x 43(2.866)						
トランスミッション	1st	A(36/17)	2.12	4th	A(30/21)	1.43		
	2nd	A(37/20)	1.85	5th	B(21/28)	1.33		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	B(21/26)	1.24		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-6			
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	190	mm		
	イニシャル	12	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-5			突き出し	STDトップブリッジで12mm突き出し mm		
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-12			
	スプリング	100.4	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	-	mm	リンク	STD			
	イニシャル	14	mm	リンクロッド	153	mm		
	COMP(HI)	MIN +2			車高	STD+22mm ピボット0mm スイング長614mm mm		
	COMP(LO)	-9						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/16.5		サイズ	200/70R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.5			
チェック	順位	9		ベストラップ	1' 33" 090			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

## <コメント>

天高く馬肥ゆる秋。  
 というわけで岡山国際サーキットでのレースが始まりました。  
 事前テストは台風の影響があり、一日目はレインコンディション。  
 重点的に走りこみを行いました。  
 二日目午前中はレインコンディションでしたが、午後からDRYになりましたが、  
 タイヤを確認するくらいしか出来ませんでした。  
 さて、迎えたレースウィークですが、前回のテストからの変更点はリアのバネレートをワンランク上げてスタート。  
 アトウッドカーブでフロントが底付き感があるのでフロンバネレートをUP(10.0から10.5Nへ)。  
 車体自体での一次旋回を上げるため突き出し量を10mm突き出して予選スタート。  
 コーナー中フロントが高いのでイニシャルを抜くがもう少しレートを下げて追ってみることに。  
 (10.5から10.25へ。レート下げてスロットルオフでの内向感が出てきた)  
 予選中にリアレートを100.4NIに上げました。しかし、残念ながらQ3には進めず、予選16番手で終了。  
 決勝はまずまずのスタート。一周目を11番手で終えてじわじわと追い上げていきます。  
 何とか9番手まで上がってゴール。  
 次回鈴鹿はもっと進化した今野選手が見れると思います。  
 応援宜しくお願いします。

レーシングサプライ  
 畑中 健太郎